

平成30年度保護者アンケートの結果

平成30年度保護者アンケートの概要

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立学校に通う全児童・生徒の保護者

【調査期間】

平成31年1月23日（水）から平成31年2月1日（金）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

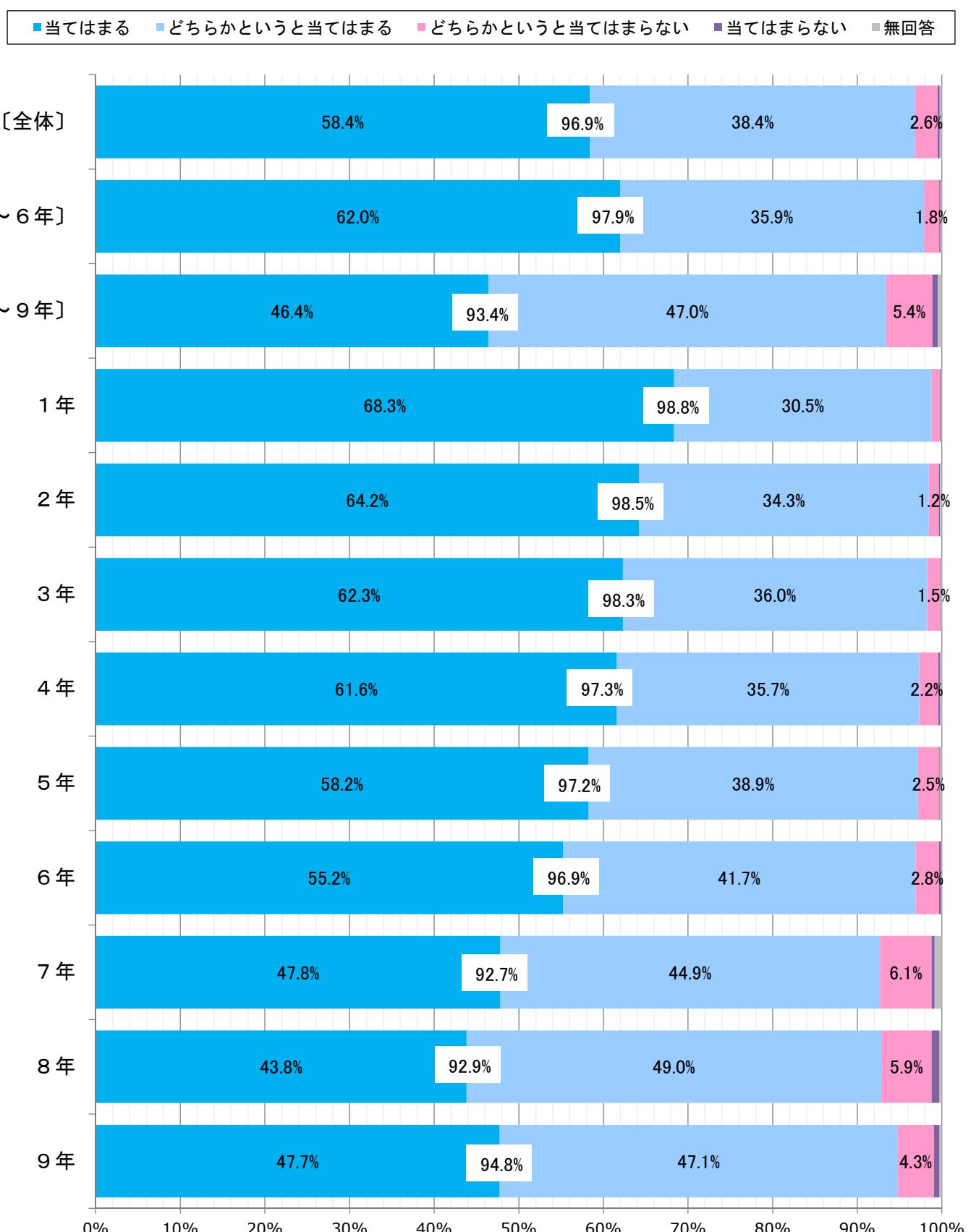
配布数 20,300 回答数 18,602 (内、有効回答数 18,506) 回答率 91.2%

注 記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. 表中の「義務教育学校」とは、「日野学園」「伊藤学園」「八潮学園」「荏原平塚学園」「品川学園」「豊葉の杜学園」の6校の合計である。
4. 表中の「小学校」「中学校」とは、それぞれ、前項の義務教育学校6校を除く小学校31校、中学校9校の合計である。
5. コメント欄内の『肯定的な回答』は、「当てはまる」と「どちらかというと当てはまる」の合計である。

[A. 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について]

[1] 基本的な生活習慣を身に付けるようにしている。

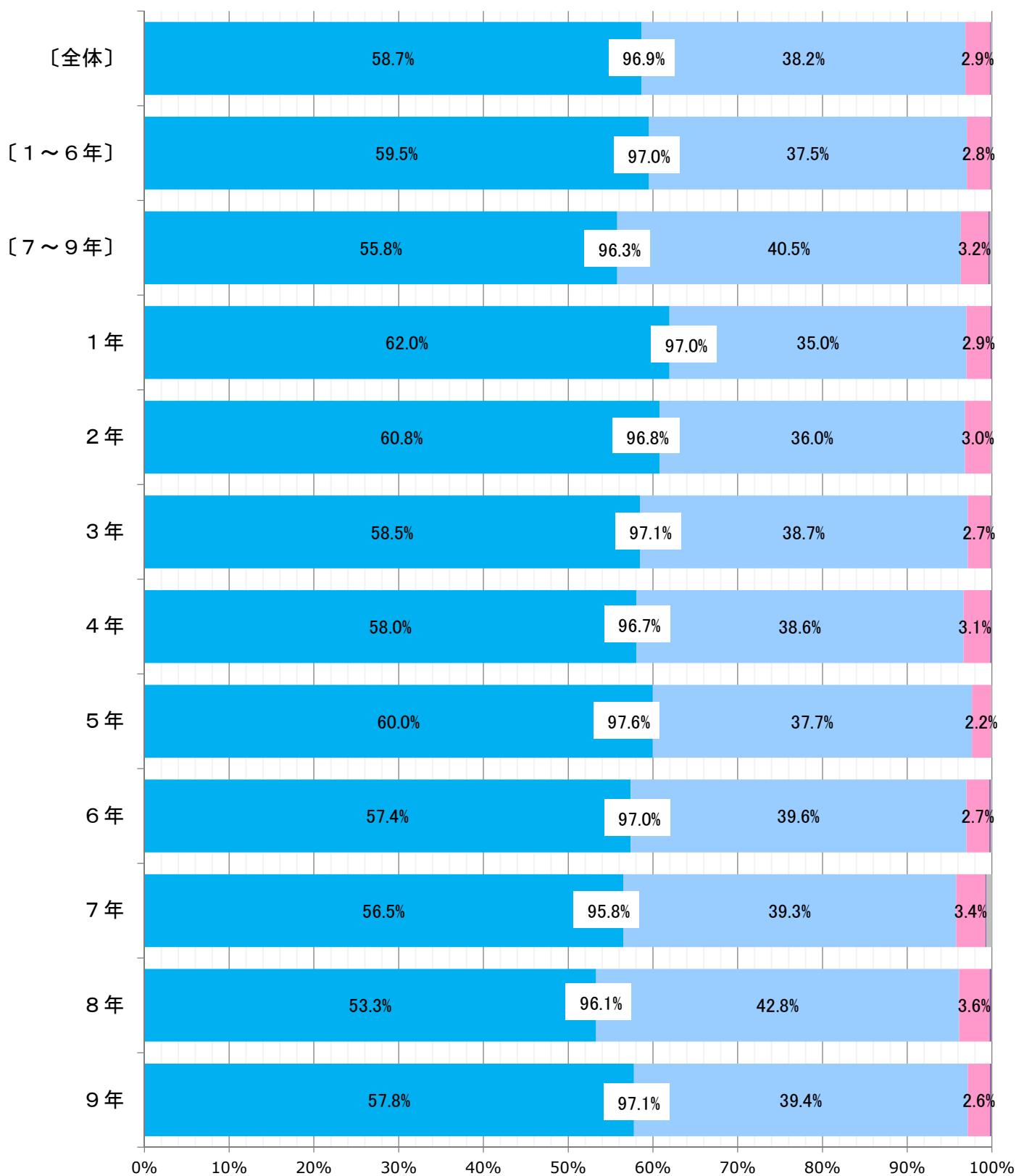


基本的な生活習慣を身に付けるようにしているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で95%を超える。1～6年は97.9%、7～9年は93.4%である。

1～8年において「当てはまる」の割合が、学年が上がるごとに低くなる傾向があり、9年でやや上昇

[2] 挨拶がしっかりできるようにしている。

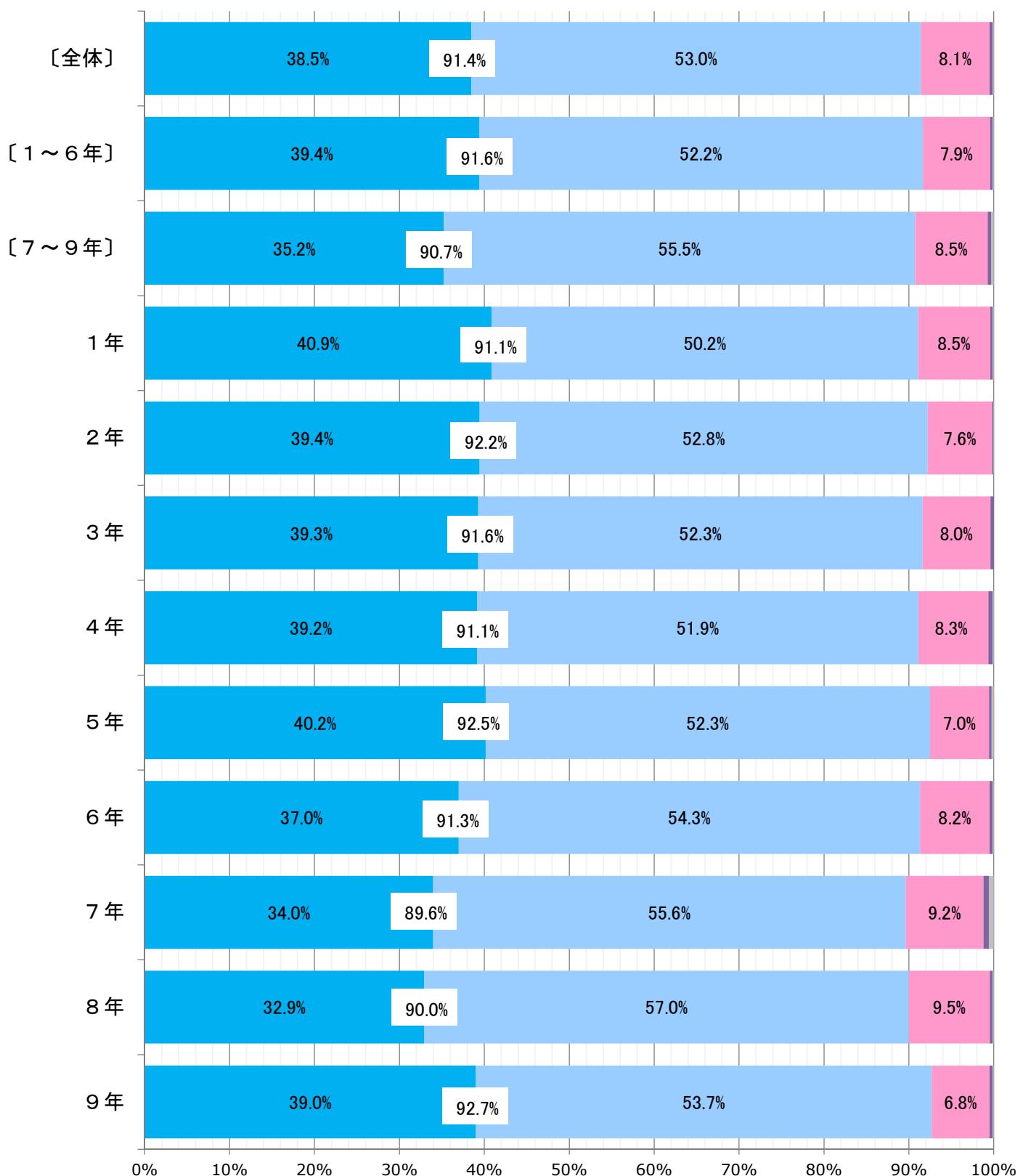
■当てはまる ■どちらかというと当てはまる ■どちらかというと当てはまらない ■当てはまらない ■無回答



挨拶がしっかりできるようにしているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で95%を超える。
 1~6年は97.0%、7~9年は96.3%である。
 全学年で95%を超える高い割合となっており、学年による差や特徴的な傾向は見られなかった。

[3] 丁寧な言葉づかいができるようにしている。

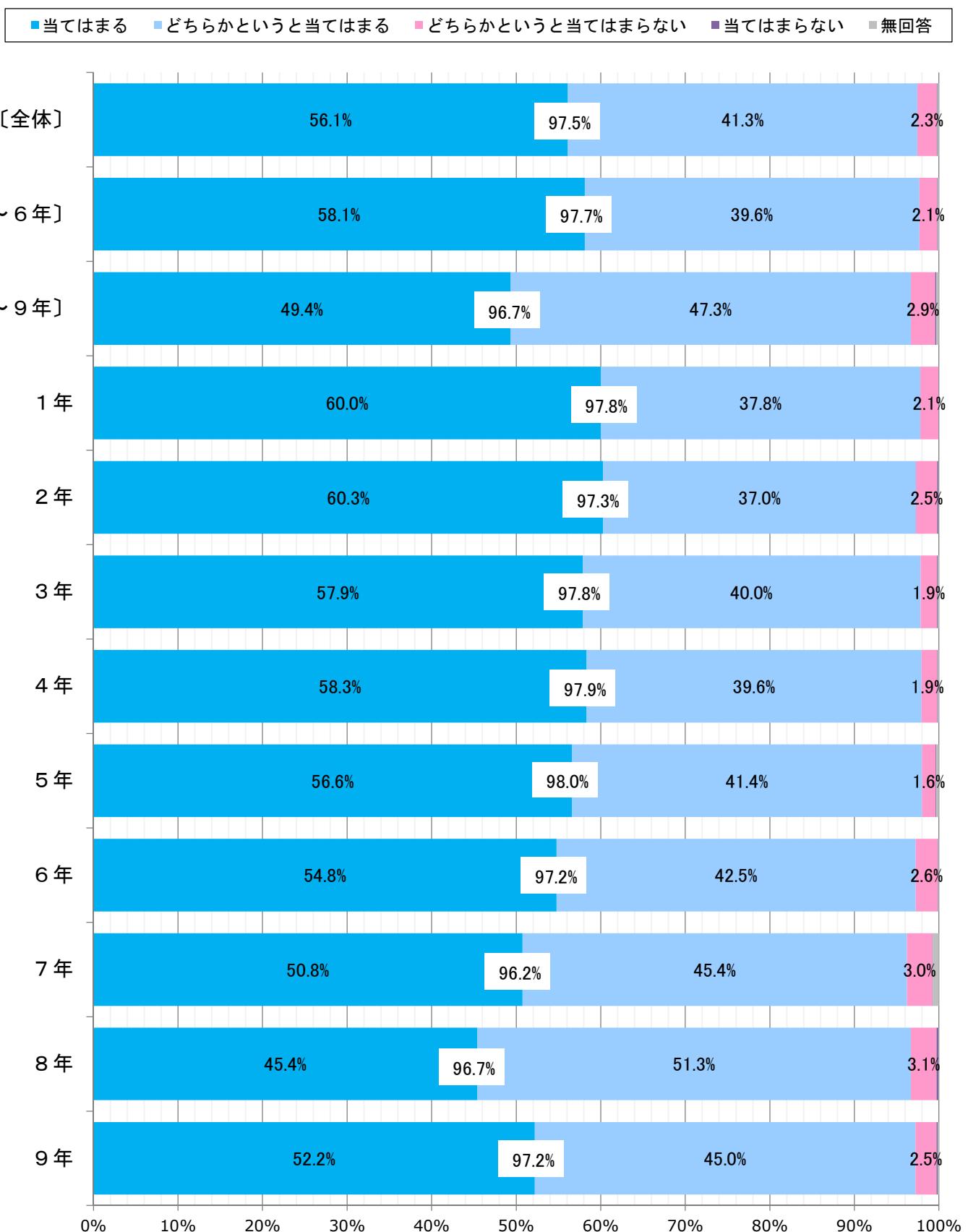
■当てはまる ■どちらかというと当てはまる ■どちらかというと当てはまらない ■当てはまらない ■無回答



丁寧な言葉づかいができるようにしているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で90%を超える。1～6年は91.6%、7～9年は90.7%である。

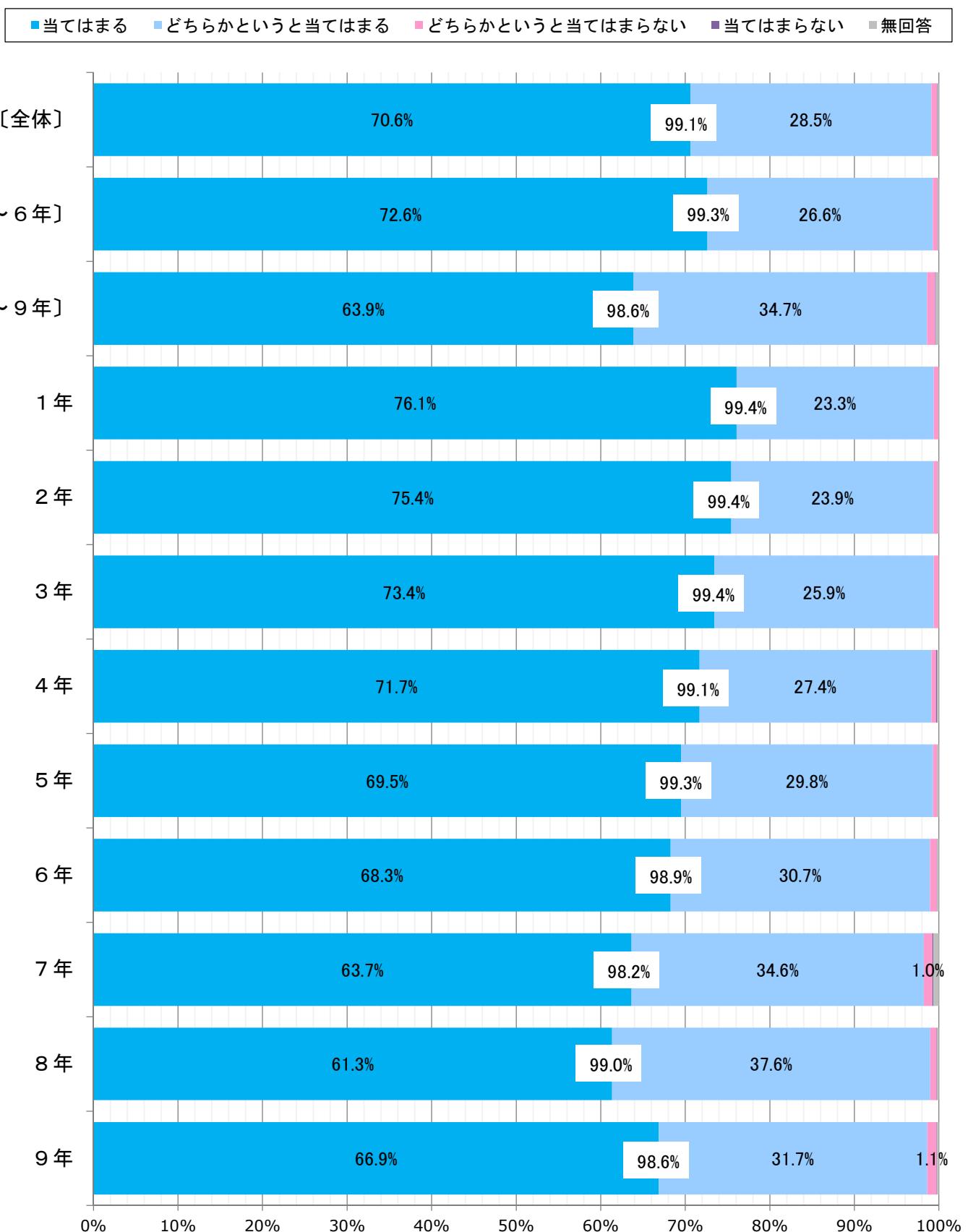
7～8年では「当てはまる」は他の学年よりやや低いものの、学年による大きな差や特徴的な傾向は見られなかった。

[4] 他者を尊重することの大切さを教えている。



他者を尊重することの大切さを教えているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で95%を超える。1～6年は97.8%、7～9年は96.7%であり、全学年で95%を超える。1～8年において「当てはまる」の割合が、学年が上がるごとにやや低くなる傾向があり、8年では5割を切って、9年で52.2%に上昇する。

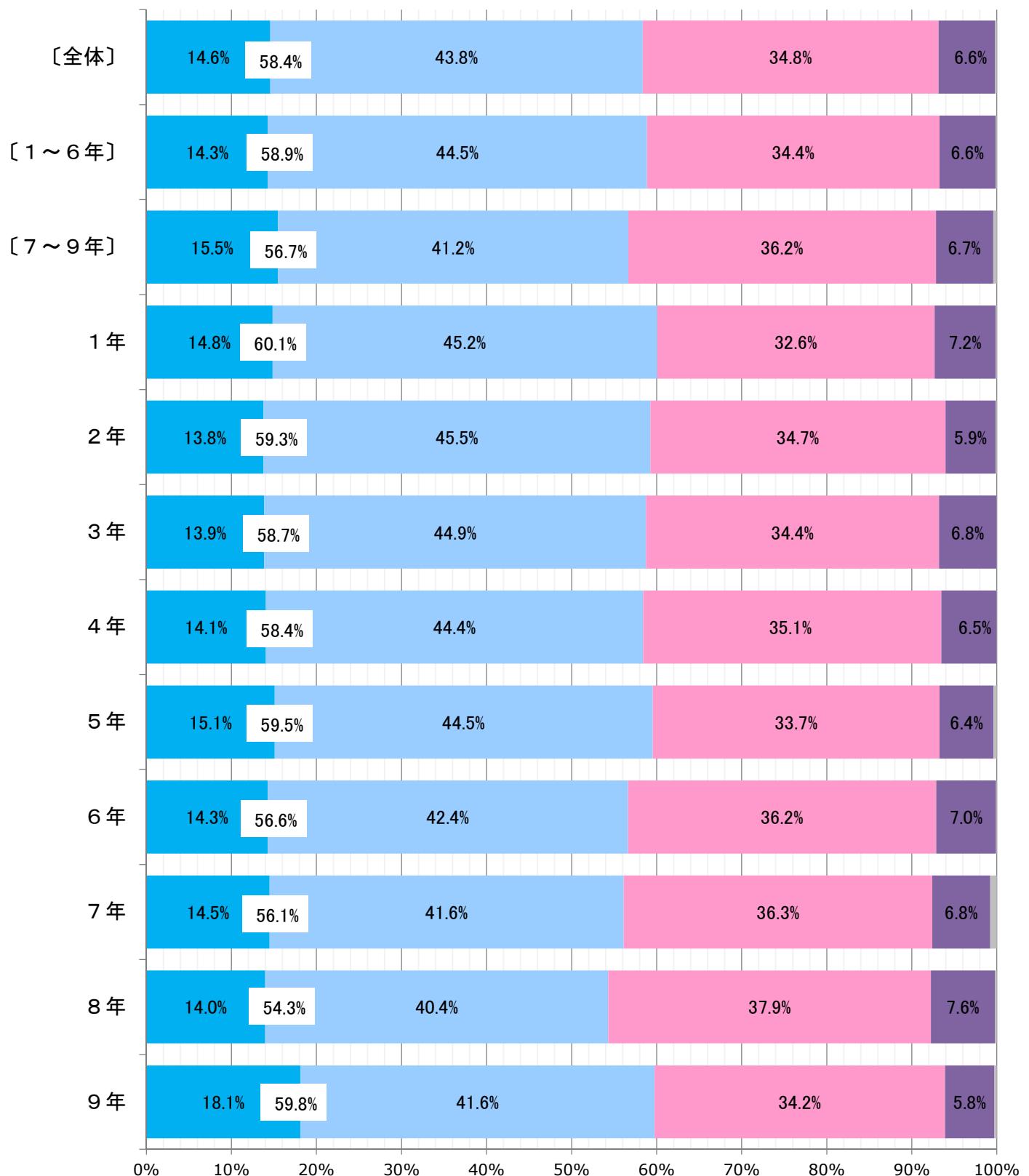
[5] 学校や公共のルール・マナーを守るようにしている。



学校や公共のルール・マナーを守るようにしているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で99.1%と全数に限りなく近い。1～6年は99.3%、7～9年は98.6%であり、全学年で98%を超える。1～8年において「当てはまる」の割合が、学年が上がるごとにやや低くなる傾向があり、9年で上昇する。

[6] 地域行事やボランティア活動に参加するようにしている。

■当てはまる ■どちらかというと当てはまる ■どちらかというと当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

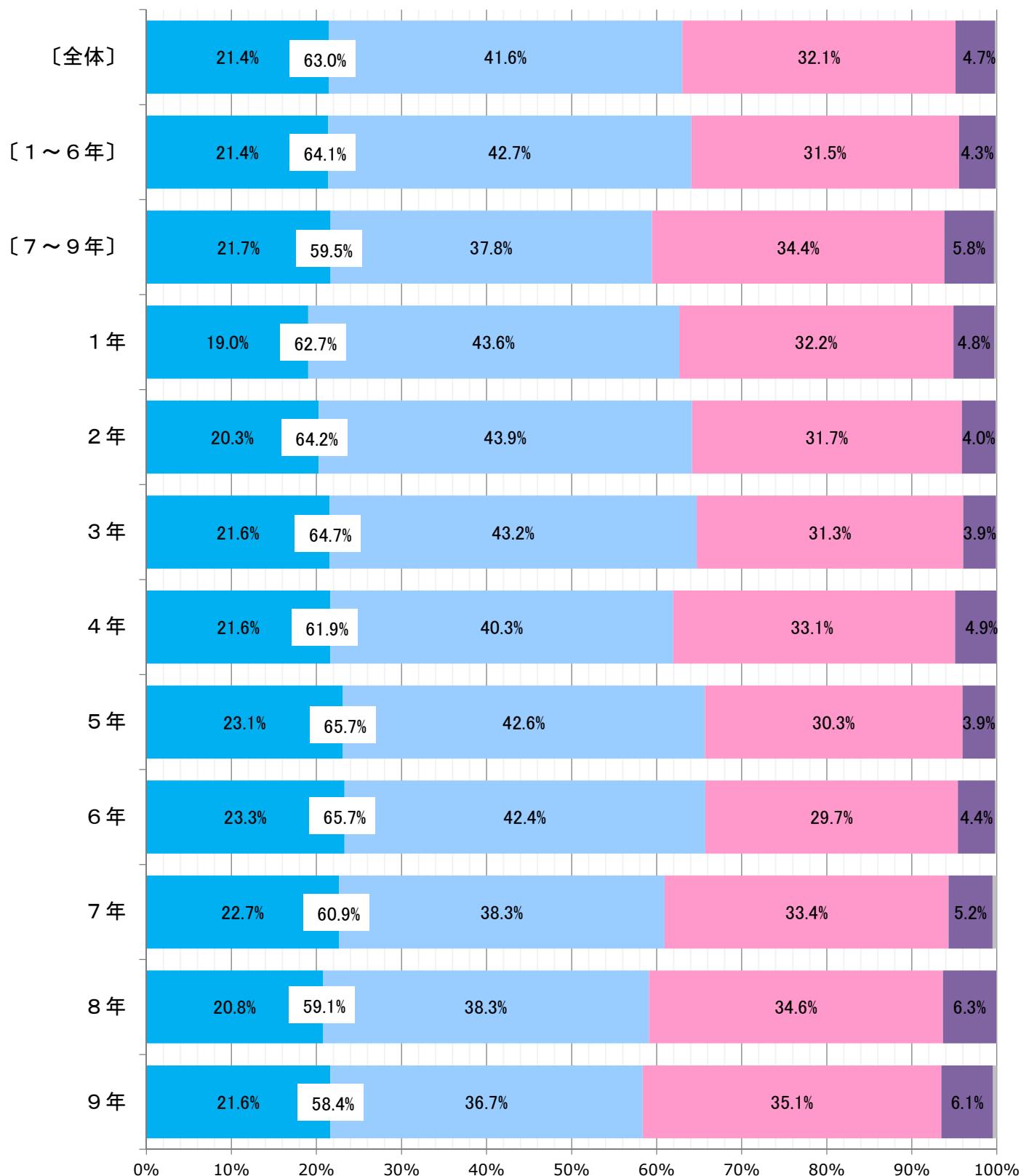


地域行事やボランティア活動に参加するようにしているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で55%を超えている。1～6年は58.9%、7～9年は56.7%である。

「当てはまる」は9年が18.1%で他の学年よりも高い。

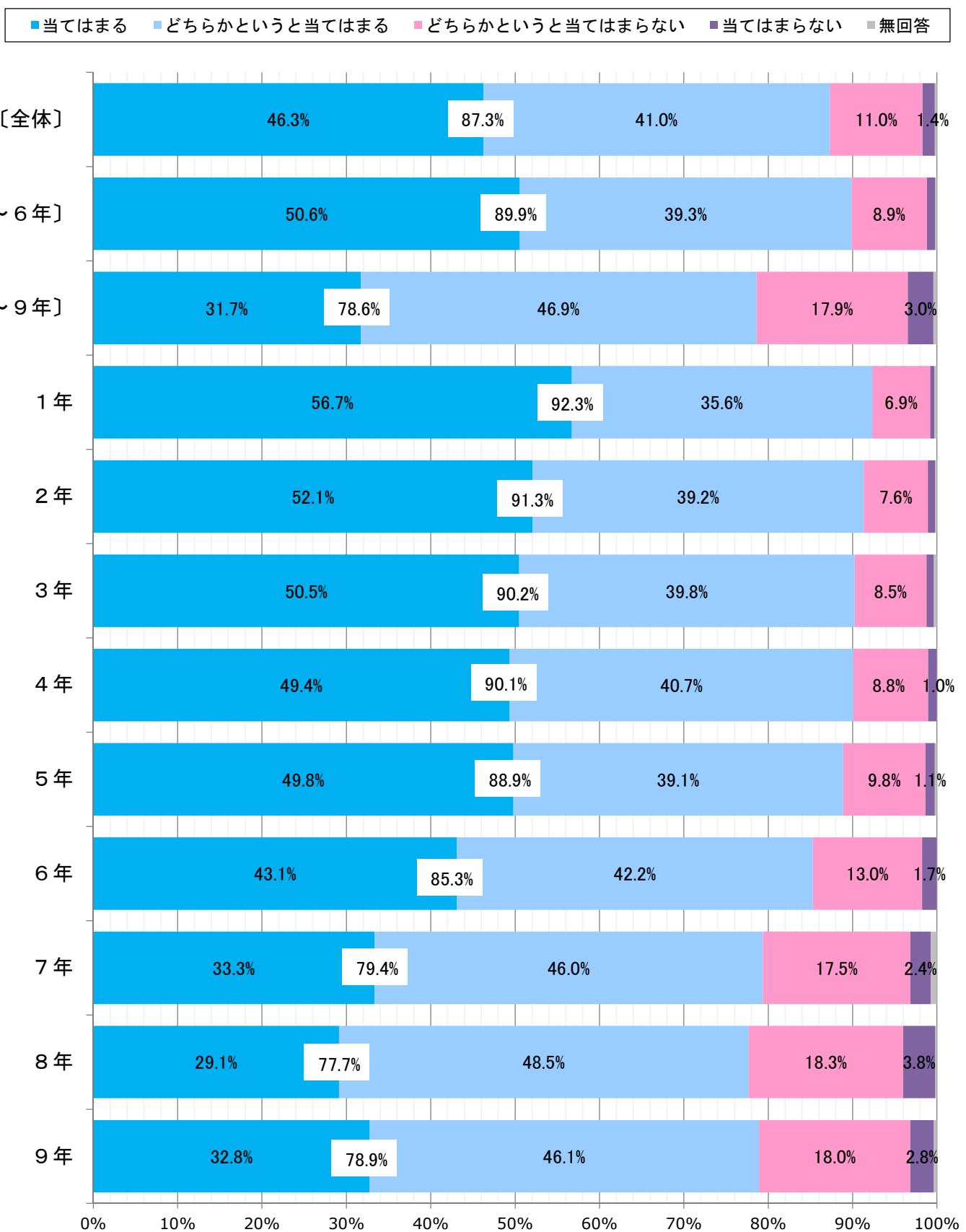
[7] 子どもに家事を分担している。

■当てはまる ■どちらかというと当てはまる ■どちらかというと当てはまらない ■当てはまらない ■無回答



子どもに家事を分担しているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で60%を超える。1~6年は64.1%、7~9年は59.5%である。
学年による差や特徴的な傾向は見られなかった。

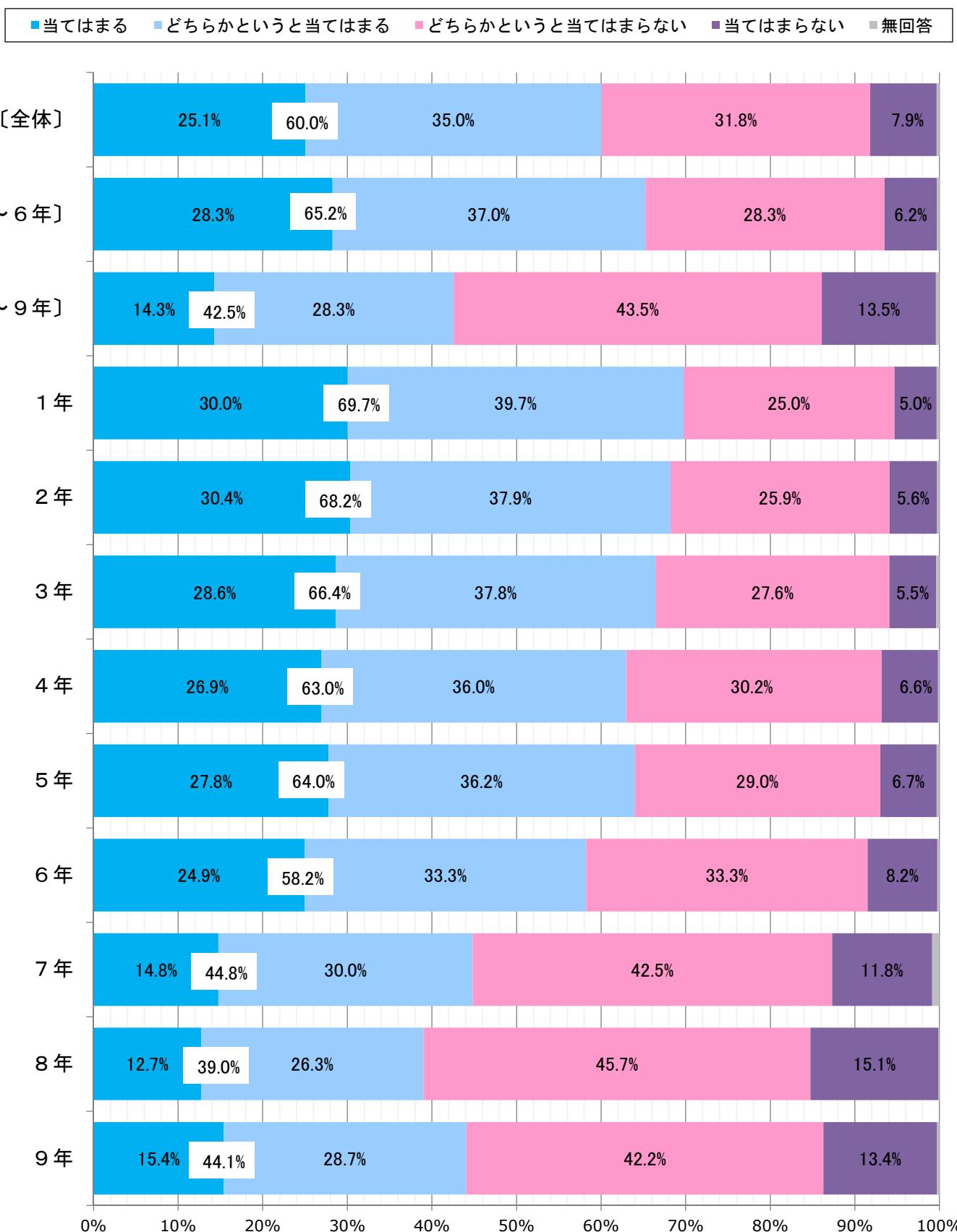
[8] 家庭学習の習慣を身に付けるようにしている。



家庭学習の習慣を身に付けるようにしているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で85%を超える。1～6年は89.9%、7～9年は78.6%である。

「当てはまる」の割合は、1～6年の50.6%に比べ、7～9年が31.7%と低く、特に8年では3割を切っている。

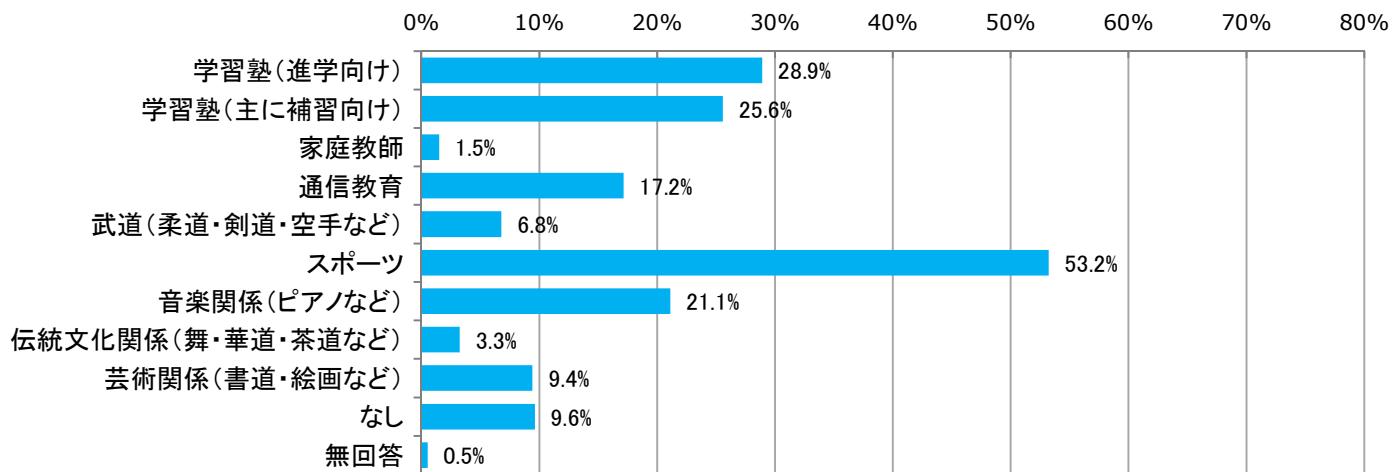
[9] 家庭での読書習慣を身に付けるようにしている。



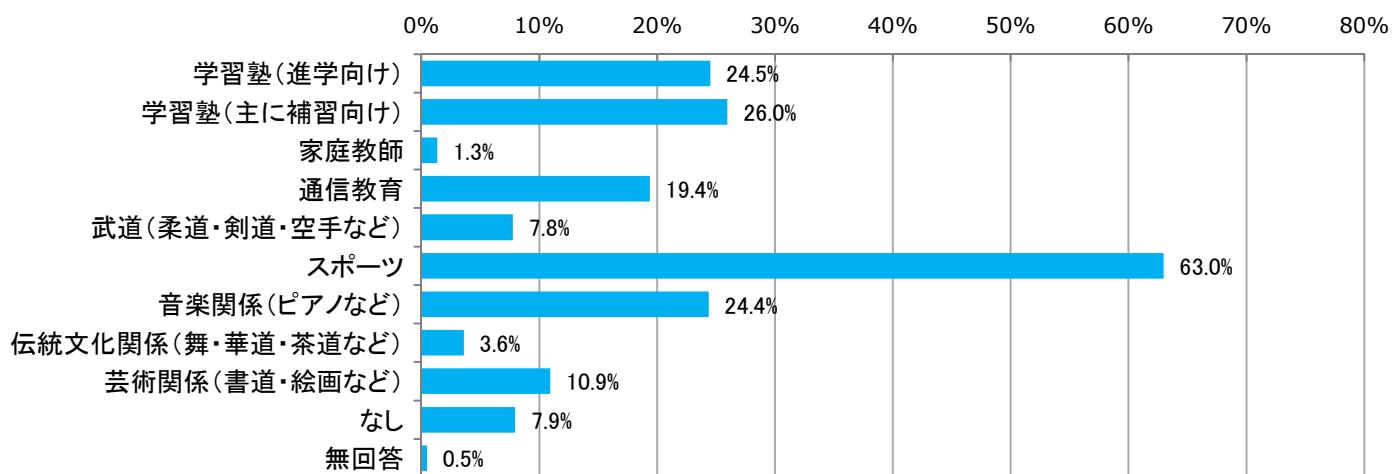
家庭での読書習慣を身に付けるようにしているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で60%である。1~6年は65.2%、7~9年は42.5%である。
「当てはまる」の割合は、1~6年の28.3%に比べ、7~9年が14.3%と低い。

[10] どのような塾や習い事をしていますか。現在行っているものをすべて選んでください。

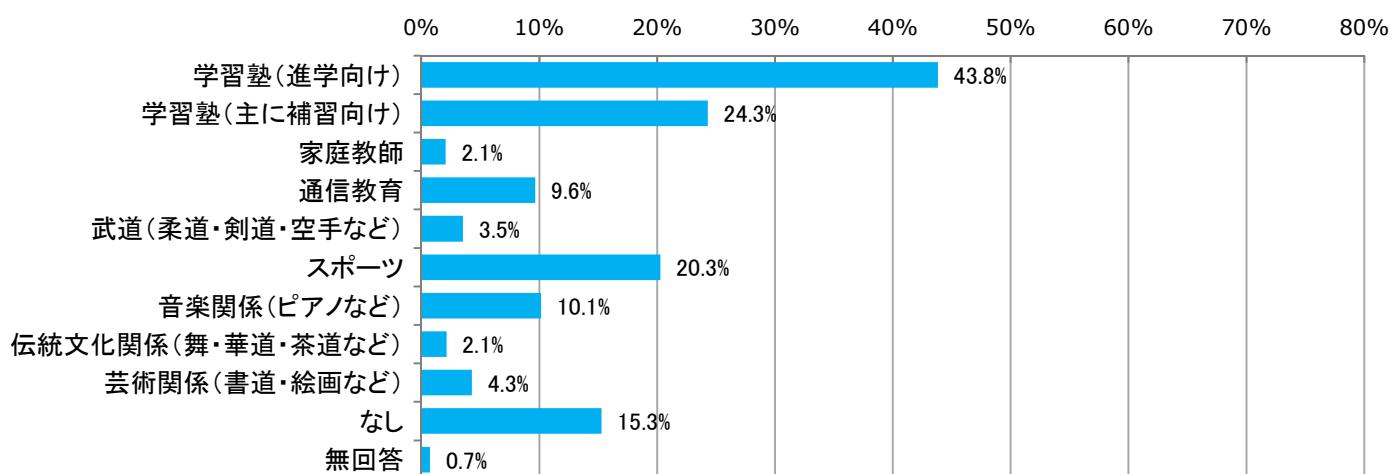
[全体]



[1～6年]

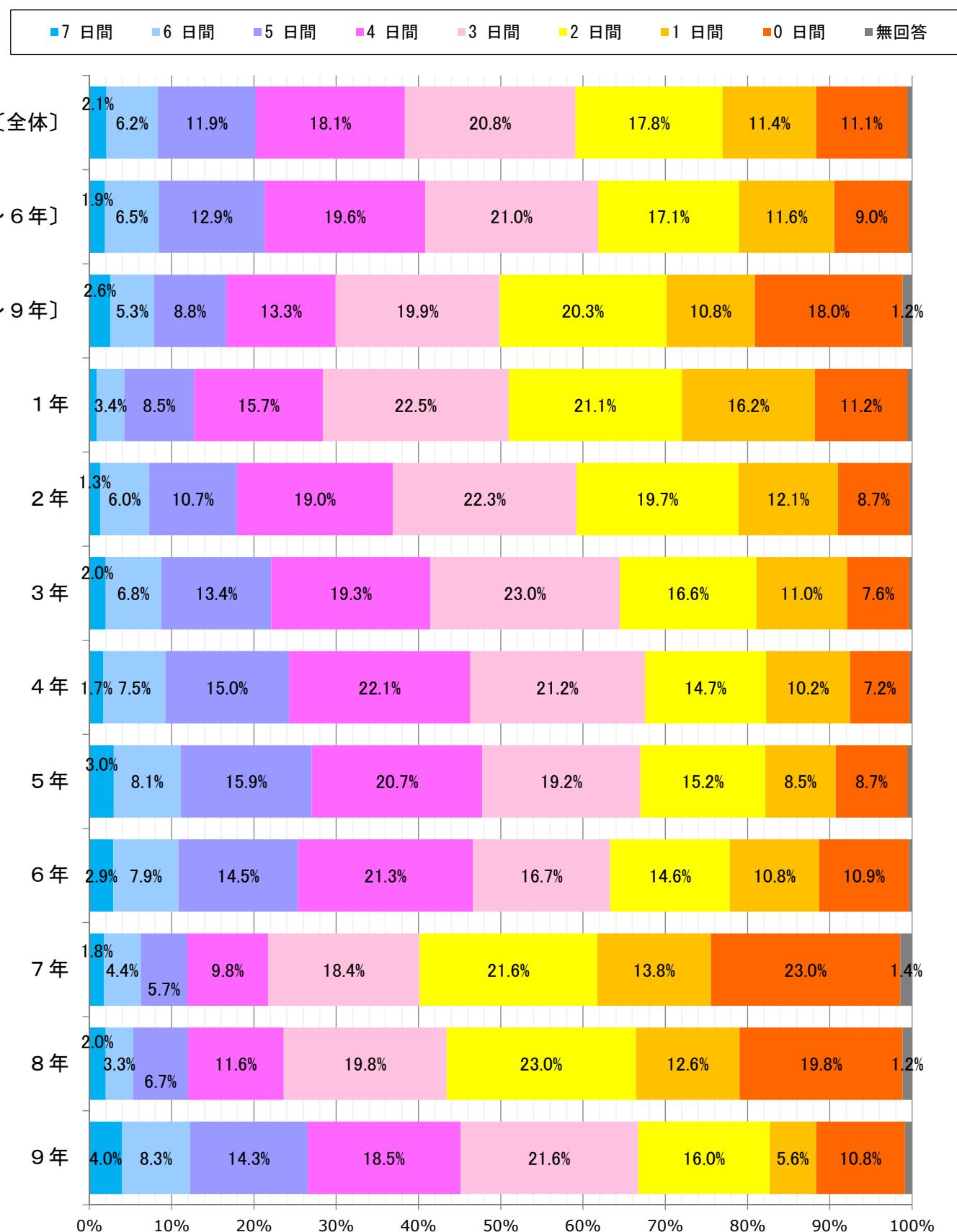


[7～9年]



「学習塾（進学向け）」に通っている子どもの割合は、1～6年では24.5%、7～9年では43.8%である。「学習塾（主に補習向け）」に通っている子どもの割合は、全体で25%を超える。「スポーツ」をしている子どもの割合は、1～6年では63.0%、7～9年では20.3%である。また、塾や習い事をしていない子どもの割合は、1～6年では7.9%、7～9年では15.3%である。

[11] 1週間のうち、塾や習い事に何日間行っていますか。



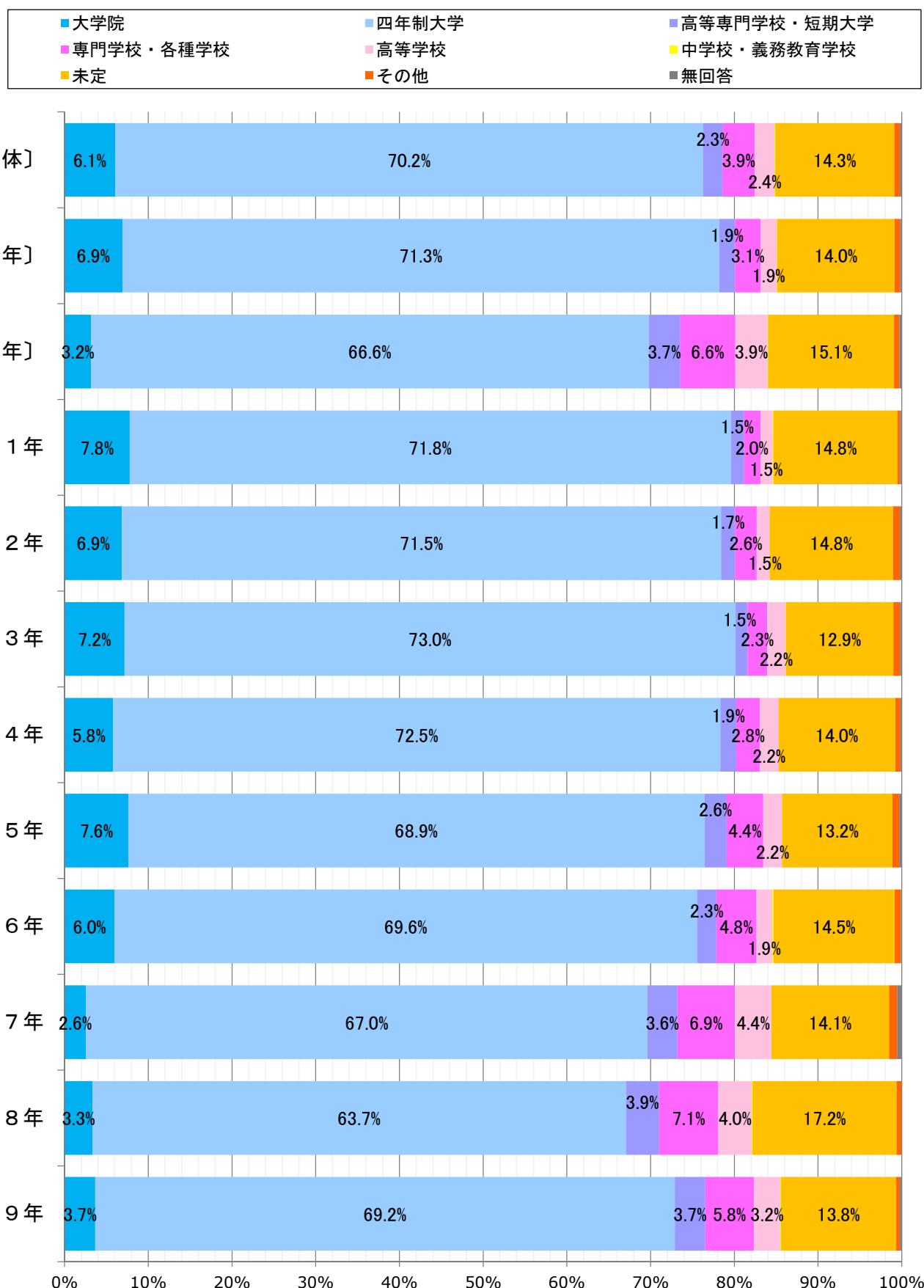
1週間のうち、塾や習い事に行っている日がある子どもの割合は、次のとおりである。

全体 88.3% 1～6年 90.4% 7～9年 80.9%

【学年別】 1年 88.2% 2年 91.0% 3年 92.1% 4年 92.5% 5年 90.7%
6年 88.7% 7年 75.6% 8年 79.0% 9年 88.3%

塾や習い事に行っている子どもの割合が、1～6年では9割なのに比べ、7～9年では8割で低い。また、1～6年では、「3日」が21.0%で最も高いのに対し、7～9年では、「2日」が20.3%で最も高

[12] 将来どこの学校まで進学するように考えていますか。

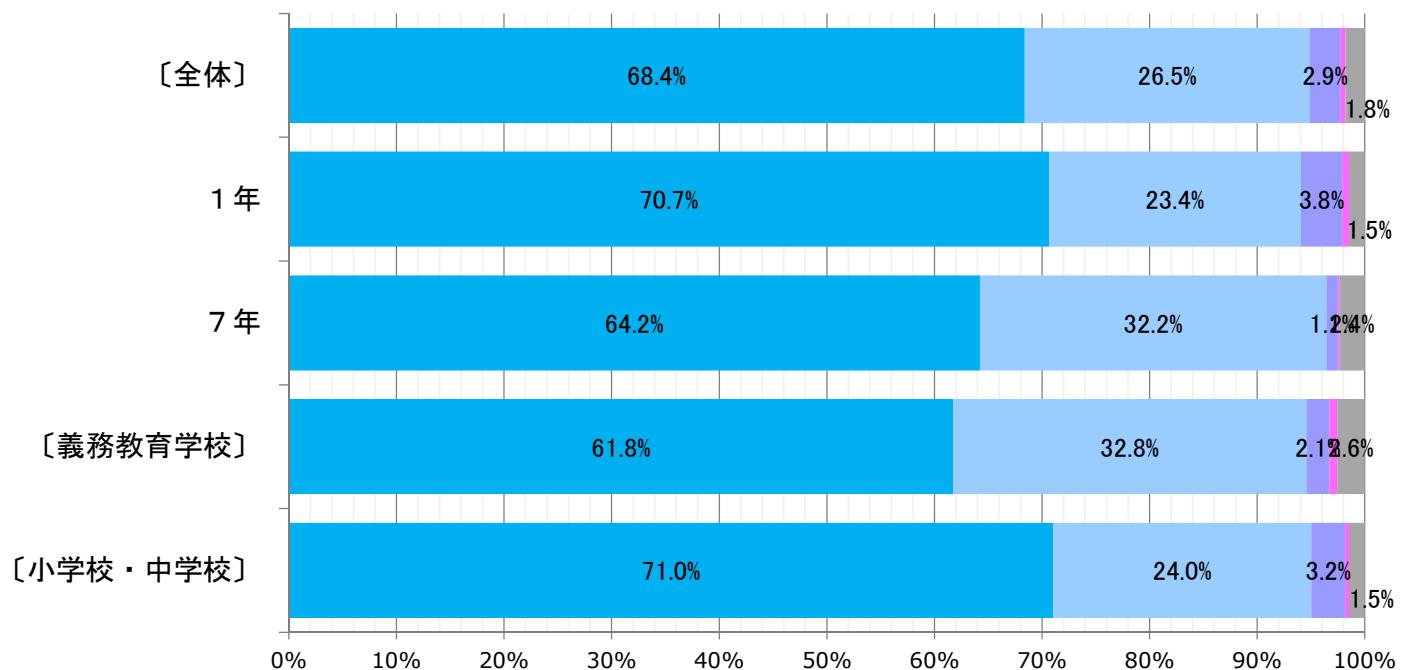


全ての学年で、「四年制大学」まで進学させたいと考えている保護者が60%以上と最も高く、1～6年では78.2%、7～9年では79.8%の保護者が、「四年制大学」以上まで進学させたいと考えている。

[B. 品川区の学校選択制について]

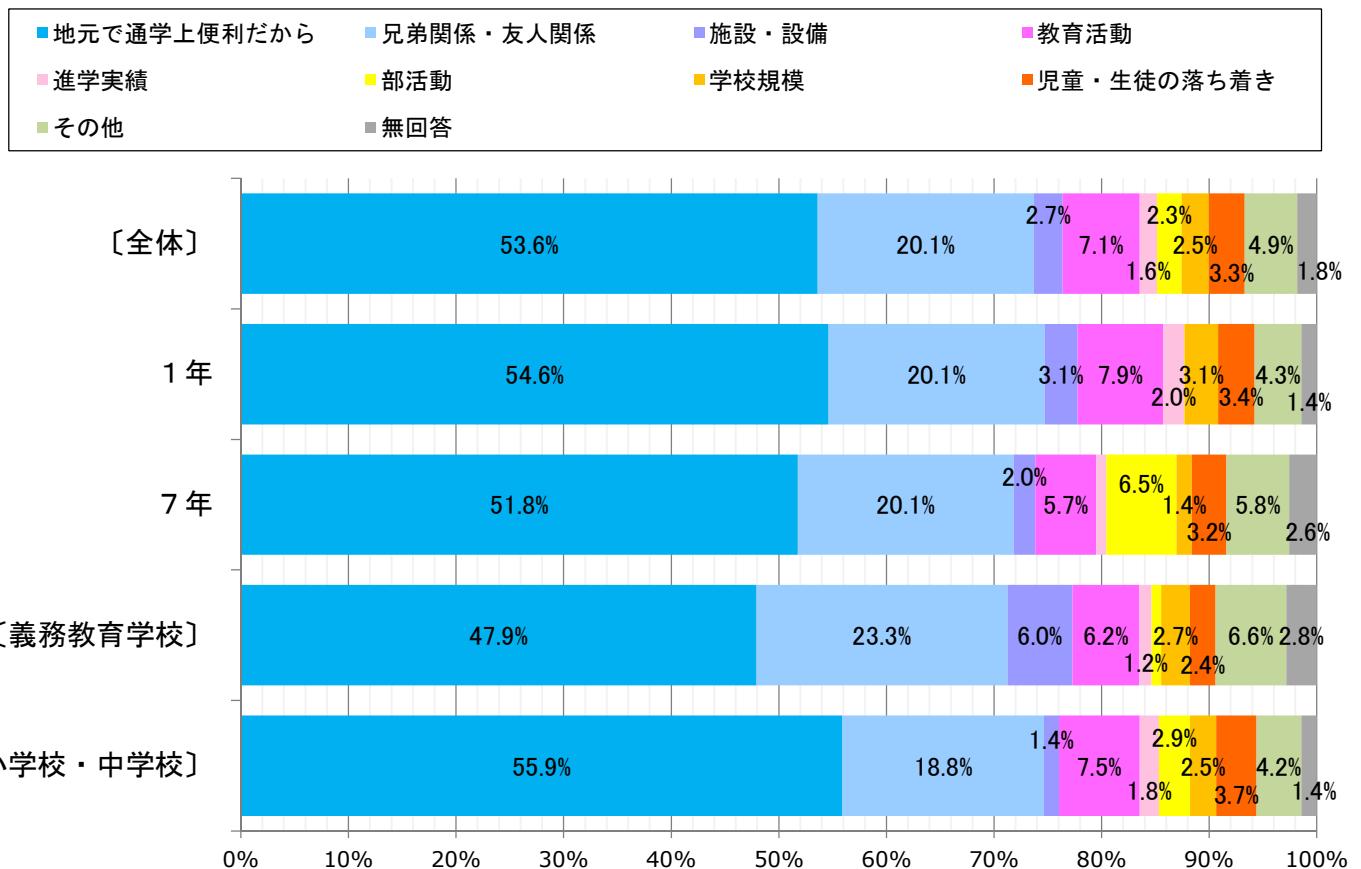
[13] 学校を選択する際、指定校以外を希望申請しましたか。また、結果どこに入学しましたか。
(1、7年のみ)

- 希望申請しないで、指定校に入学した
- 希望申請して、希望の学校に入学した
- 希望申請したが抽選ではずれたため、指定校に入学した
- 希望申請したが抽選ではずれたため、指定校以外の学校に入学した
- 無回答



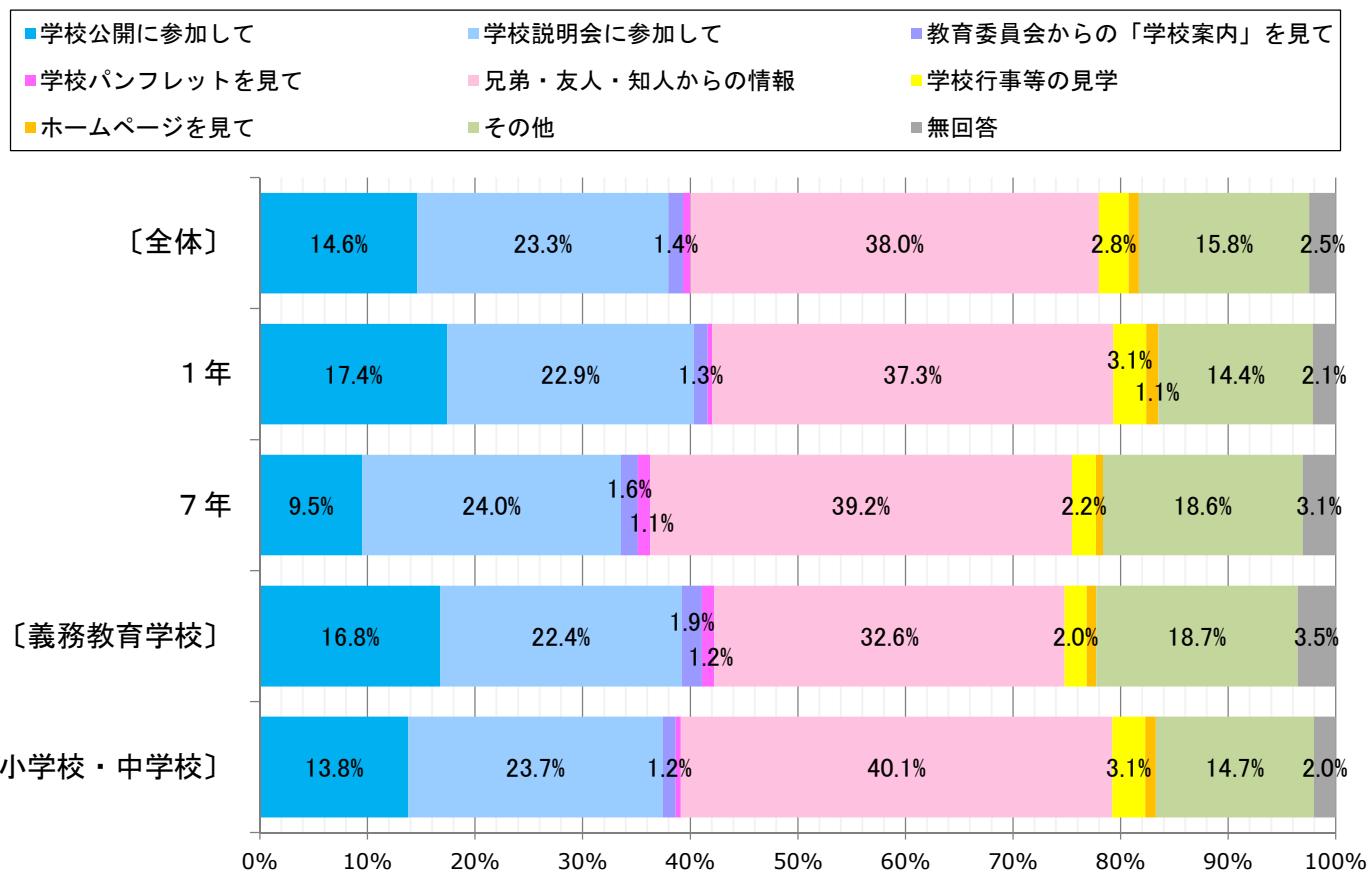
学校選択制を利用し「希望申請して、希望の学校に入学した」割合は1年が23.4%、7年が32.2%である。「希望申請しないで、指定校に入学した」の割合は、小学校・中学校が7割強で、義務教育学校の6割強より高い。

[14] 学校を選択する際、最も重視したことを1つだけ選んでください。(1、7年のみ)



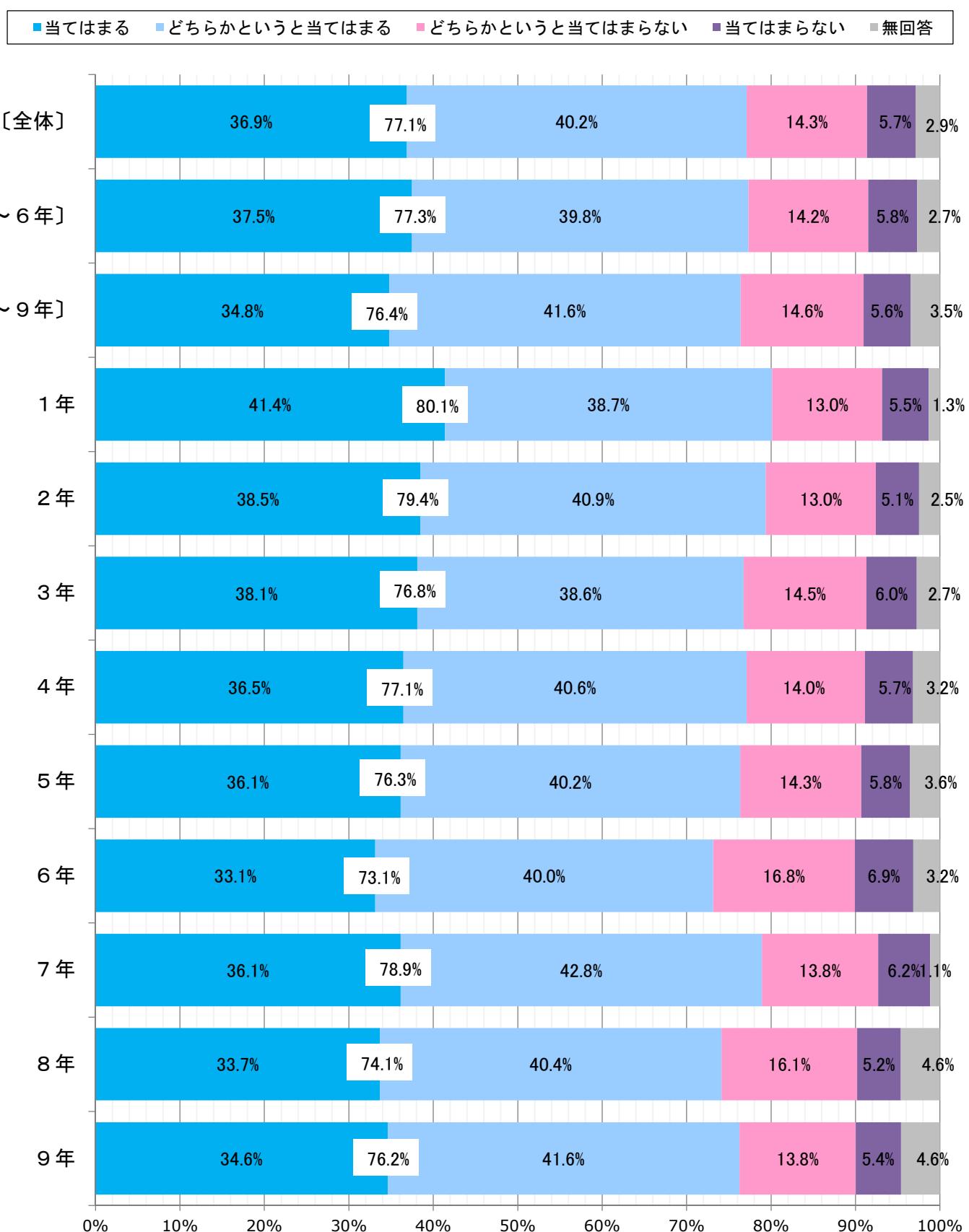
学校を選択する際、最も重視したことは、「地元で通学上便利だから」が1年で54.6%、7年で51.8%と5割を超えて最も高い。次いで、「兄弟関係・友人関係」が1年と7年ともに20.1%である。「施設・設備」の割合は、義務教育学校のほうが小学校・中学校より高い。

[15] 学校を選択する際、最も重視した情報を1つだけ選んでください。 (1、7年のみ)



学校選択をする際、最も重視した情報は、「兄弟・友人・知人からの情報」が1年で37.3%、7年で39.2%と最も高い。「兄弟・友人・知人からの情報」の割合は、小学校・中学校のほうが義務教育学校より高い。

[16] 学校選択は良い制度だと思う。

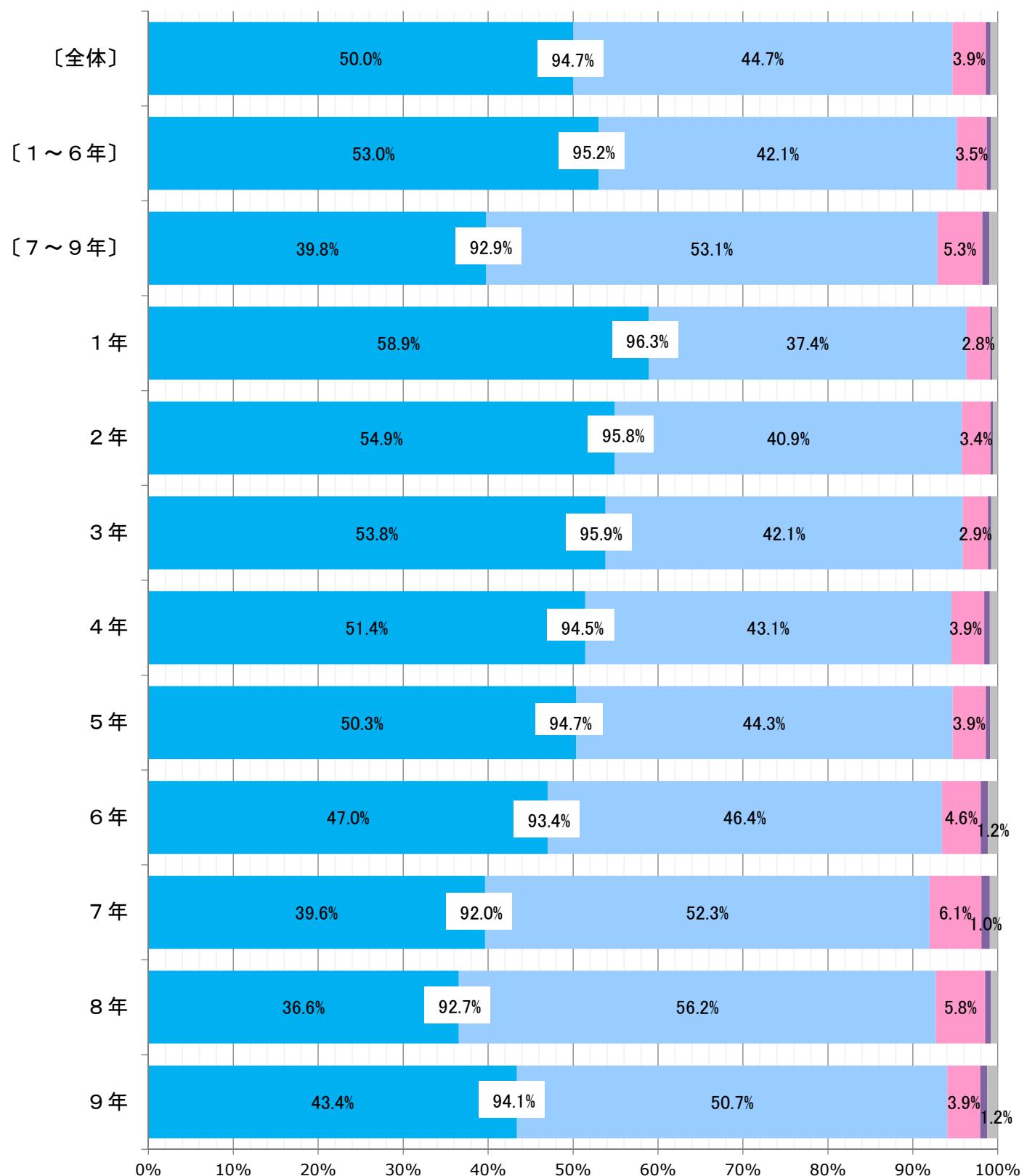


学校選択は良い制度だと思うという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で75%を超える。1～6年は77.3%、7～9年は76.4%である。
学年による差や特徴的な傾向は見られなかった。

[C. お子さんが通っている学校と地域との連携・協働について]

[17] お子さんの通っている学校は、地域と連携している。

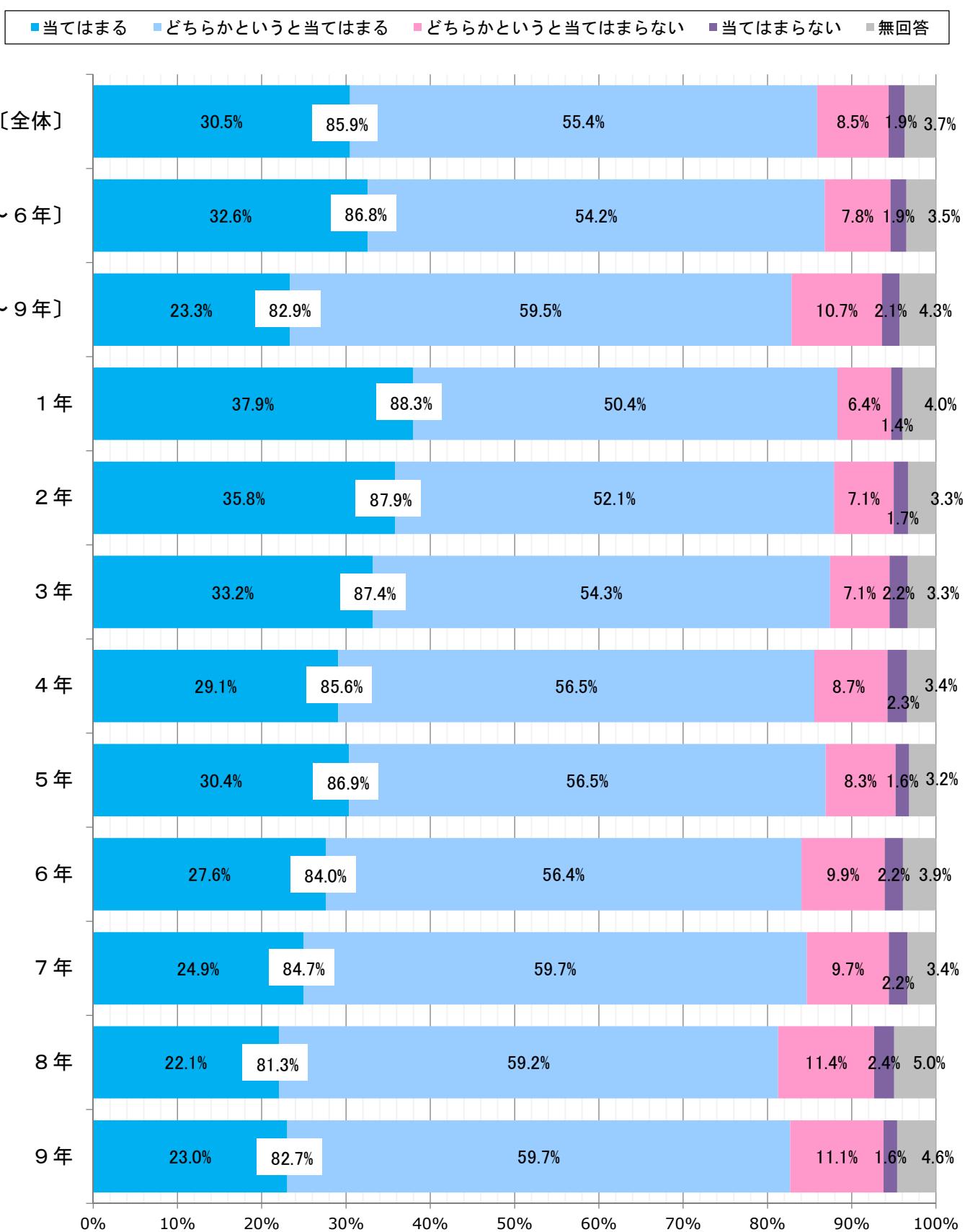
■当てはまる ■どちらかというと当てはまる ■どちらかというと当てはまらない ■当てはまらない ■無回答



子どもが通っている学校は、地域と連携しているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で約95%である。1～6年は95.2%、7～9年は92.9%である。

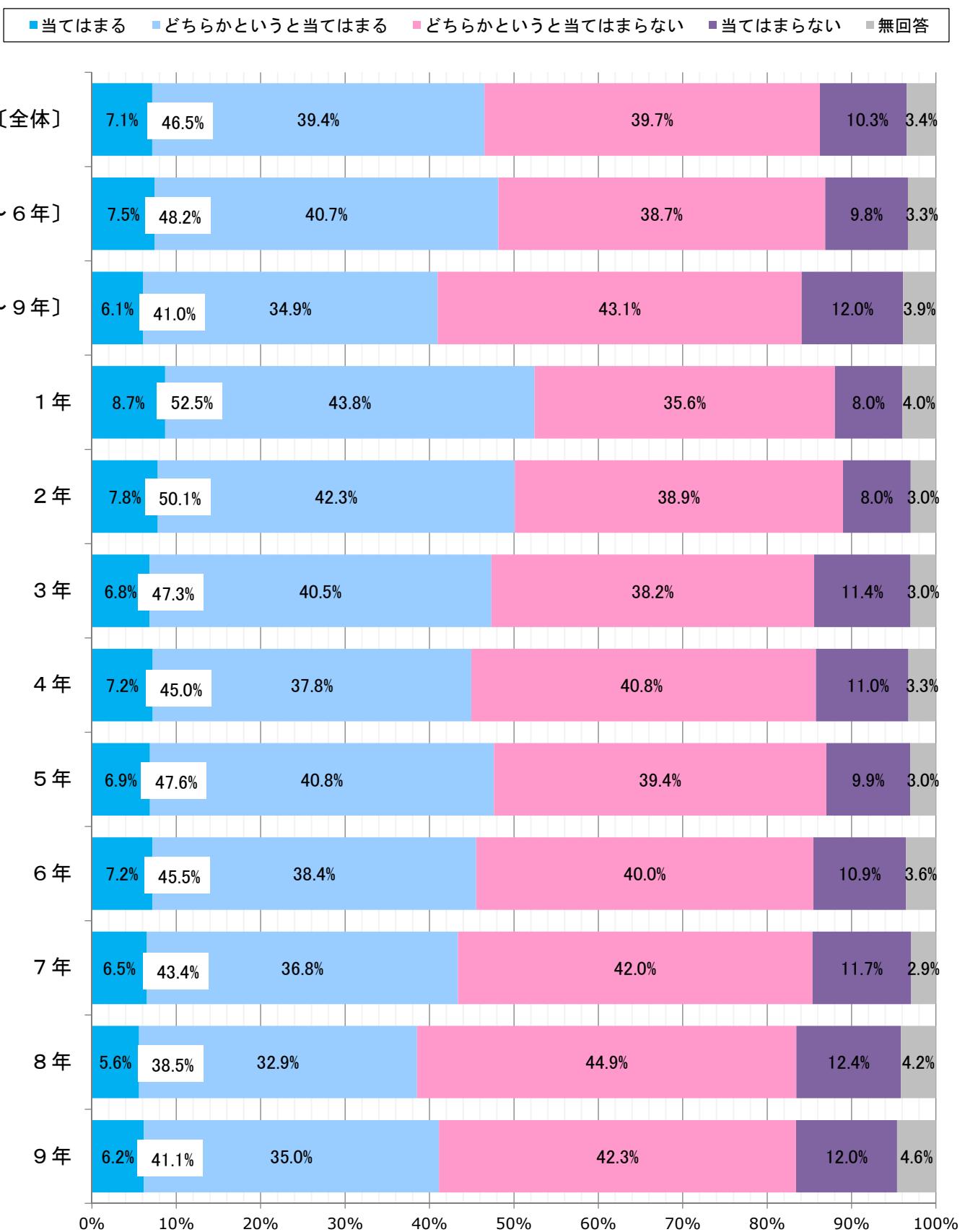
「当てはまる」の割合は、1～6年の53.0%に比べ、7～9年が39.8%と低く、7～8年で4割を切っている。

[18] 品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思う。



品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思うという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で85%を超えており、1~6年は86.8%、7~9年は82.9%である。
「当てはまる」は1~6年の32.6%に比べ、7~9年が23.3%と低い。

[19] お子さんが卒業しても、品川コミュニティ・スクールなどの教育活動に協力しようと思う。

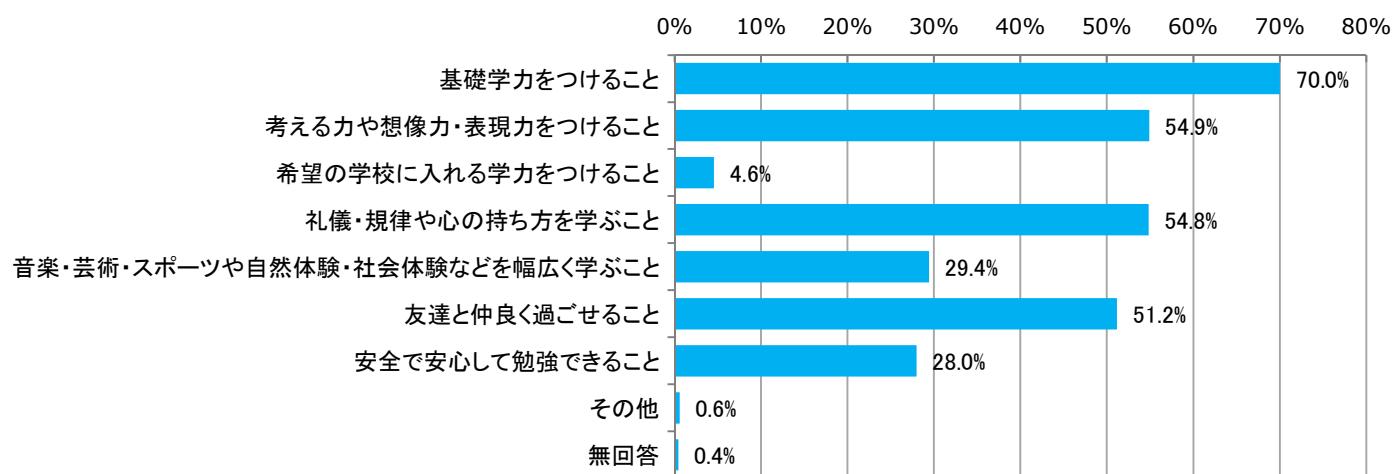


子どもが卒業した後でも品川コミュニティ・スクールなどの教育活動に協力しようと思うという『肯定的な回答』をした家庭は、46.5%と半数以下である。1～6年は48.2%、7～8年は41.0%である。学年による差や特徴的な傾向は見られなかった。

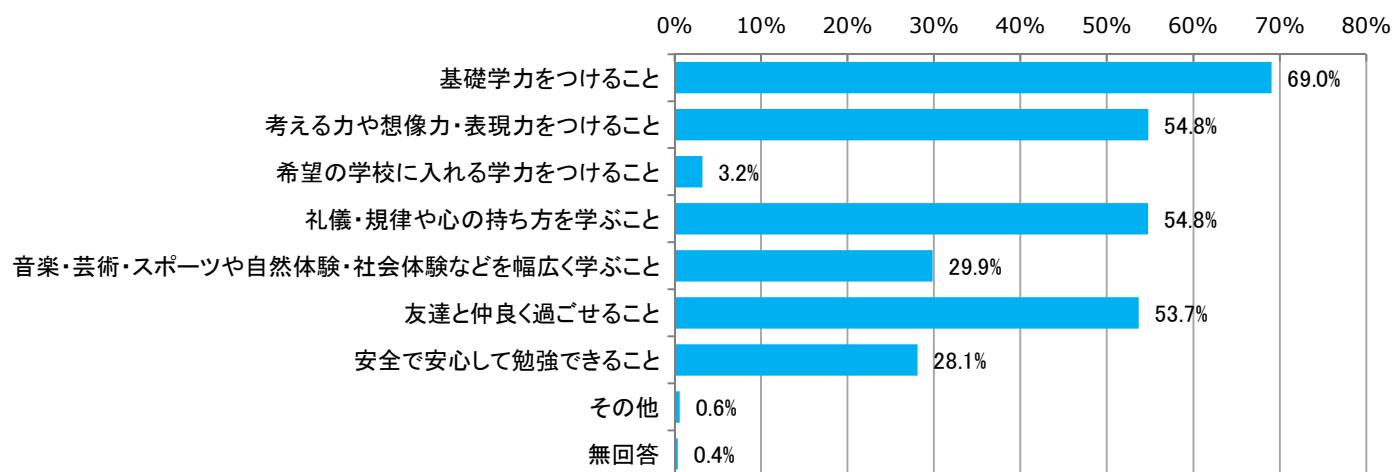
[D. 品川区の教育施策について]

[20] 義務教育段階で重要なと思うことは何ですか。3つまで選んでください。

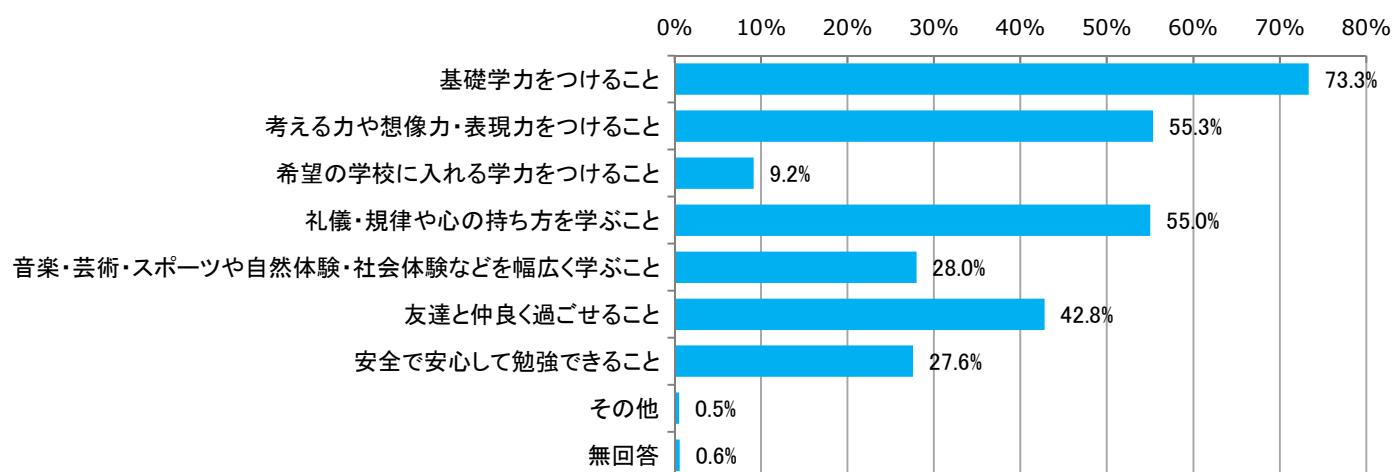
[全体]



[1～6年]

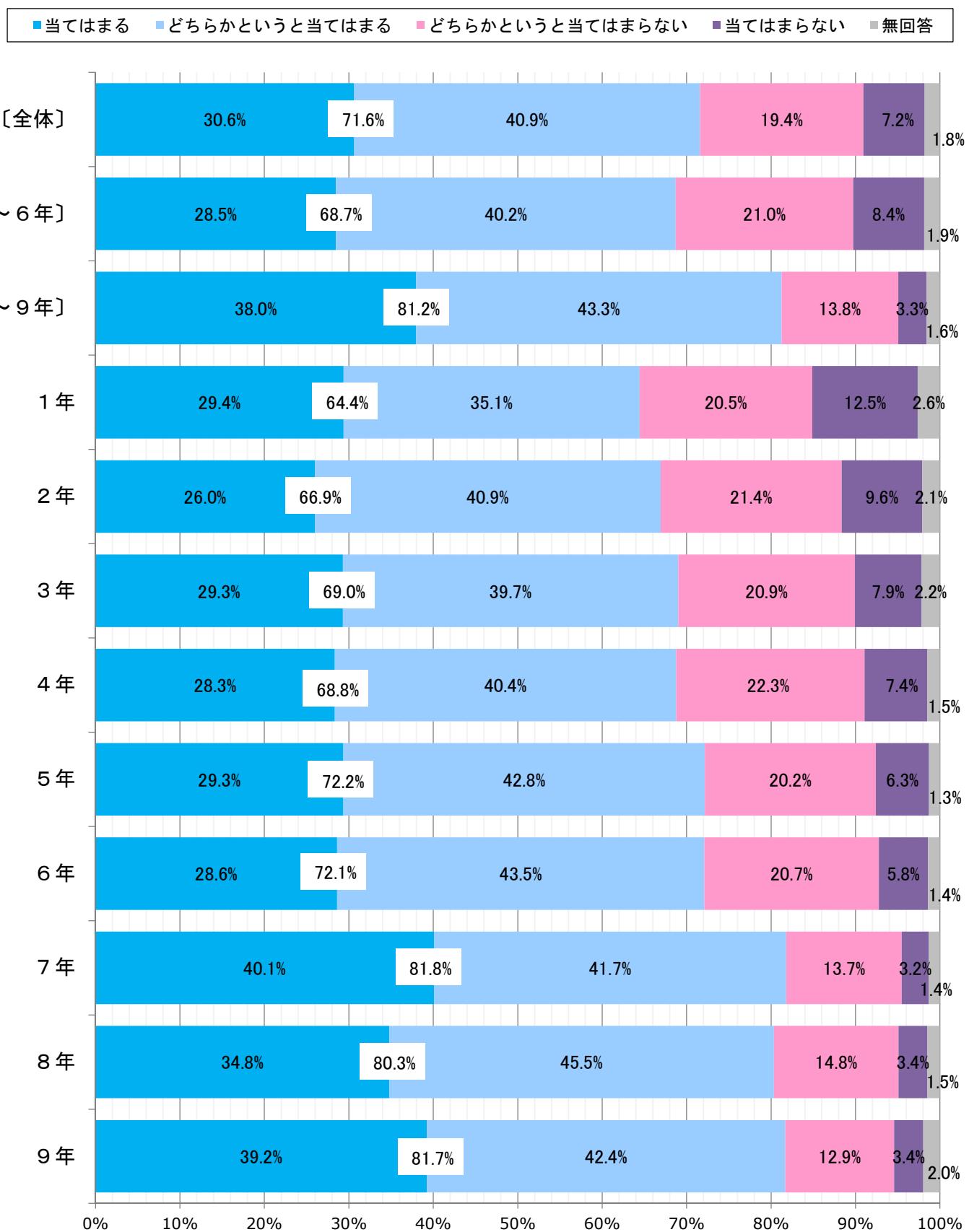


[7～9年]



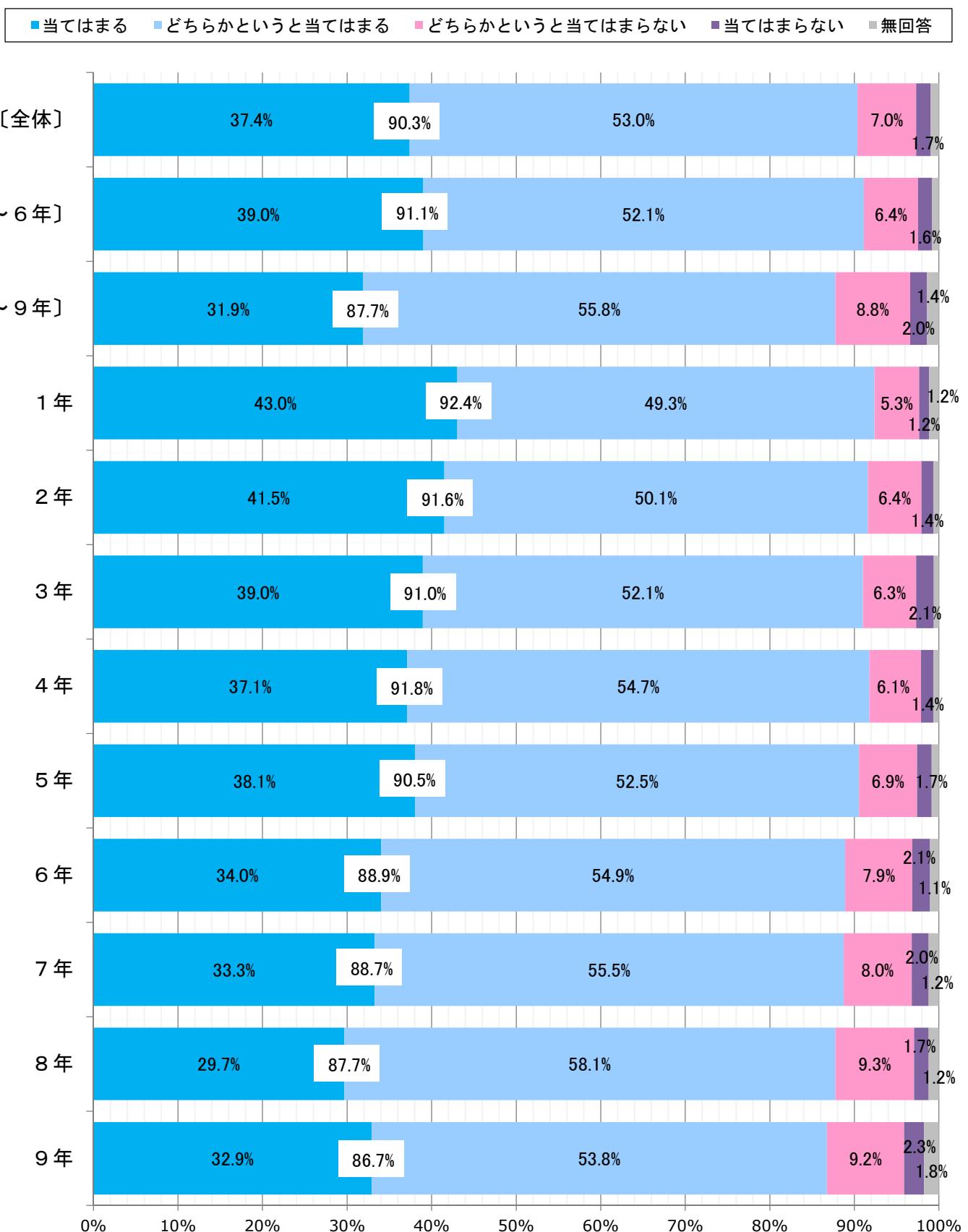
義務教育段階で重要なと思うことは、「基礎学力をつけること」が最も高く、全体で70%である。次いで、「考える力や想像力・表現力をつけること」と「礼儀・規律や心の持ち方を学ぶこと」が全体でも、1～6年と7～9年でも55%前後のほぼ同程度の割合である。

[21] お子さんの通っている学校は一貫教育を推進している。



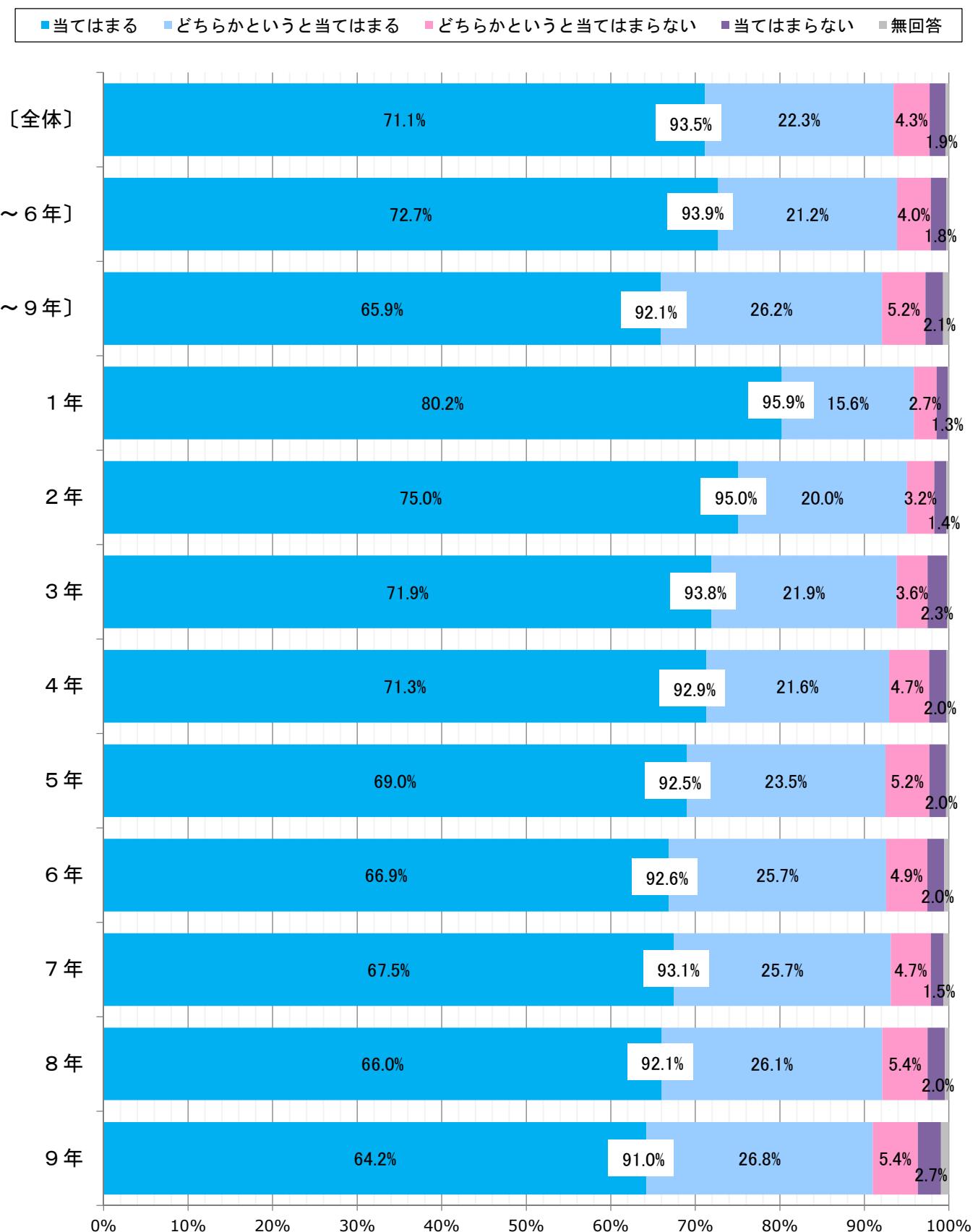
子どもが通っている学校は一貫教育を推進しているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で70%を超える。1～6年は69.3%、7～9年は81.8%である。
「当てはまる」の割合は、7～9年の37.9%に比べ、1～6年が28.6%と低い。

[22] 独自教科である市民科は、良い学習だと思う。



独自教科である市民科は、良い学習だと思うという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で約90%である。1～6年は91.1%、7～9年は87.7%である。
「当てはまる」は8年が3割を切ってやや低いものの、学年による差や特徴的な傾向は見られなかつた。

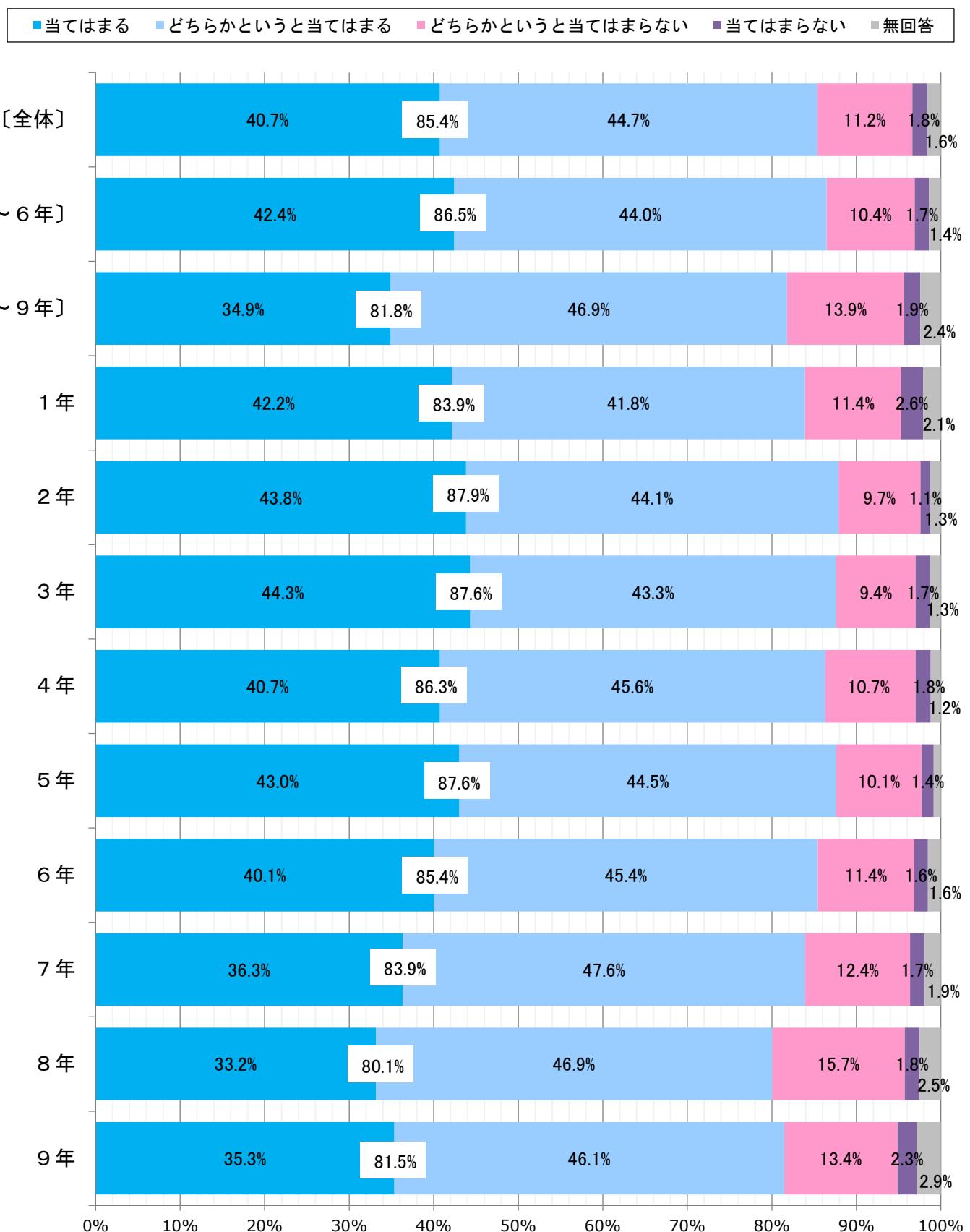
[23] 1年生からの英語学習は良いことだと思う。



1年生からの英語学習は良いことだと思うという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で90%を超える。1～6年は93.9%、7～9年は92.1%である。「当てはまる」の割合は、すべての学年で60%を超える。

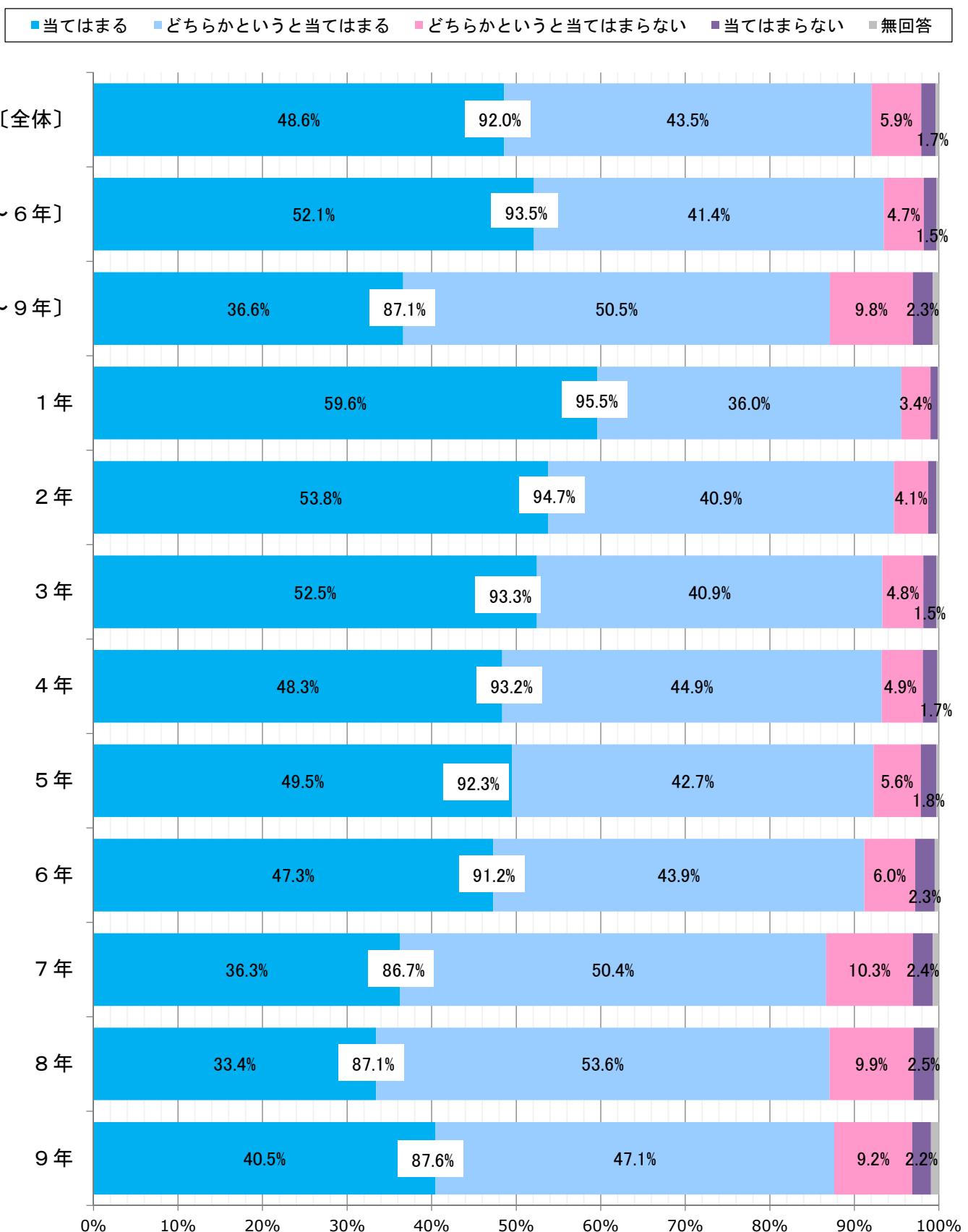
学年による差や特徴的な傾向は見られなかった。

[24] お子さんの通っている学校は、オリンピック・パラリンピック教育を推進している。



子どもが通っている学校は、オリンピック・パラリンピック教育を推進しているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で85%を超える。1~6年は86.5%、7~9年は81.8%である。
「当てはまる」の割合は、1~6年の42.4%に比べ、7~9年が34.9%と低い。

[25] 現在通っている学校に満足している。



現在通っている学校に満足しているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で90%を超える。1～6年は93.5%、7～9年は87.1%である。

「当てはまる」の割合は、1～6年の52.1%に比べ、7～9年が36.6%と低く、7～8年では4割を切っている。